

計画(新規事業計画)成果報告書

法人名等	社会福祉法人高田福祉事業協会
施設名	高田保育園（幼保連携型認定こども園）
報告者（役職）	草深 ふじ美（園長）
住所・連絡先	三重県津市一身田町 280
	☎ 059-232-2075 E-mail info@takadahoikuen.jp

○タイトル（保育計画）

一人ひとりみんな違う感じる心、自己表現のきっかけを応援しよう

○主な助成備品

療育用教材、音楽療法楽器、乳児リトミック用教材・楽器など

1. 保育計画策定の目的

保育園から幼保連携型認定こども園に移行し入園可能条件が広がったことで、地域の要望に対して柔軟に応えることが出来るようになり、配慮を必要とする子どもたちを含め幅広く受け入れる体制を整えてきました。『ほとけのこを伸び伸びと育てる』という保育教育目標のもと、寄り添った養護を土台として培われる自己表現力が、乳幼児期に必要な育ちであることを改めて顧みた時、高田保育園の特色でもある「障がい児保育（療育と音楽療法）」と「乳児リトミック」の実践内容の更なる充実が中心になると考えました。

以上の観点から、子どもたち一人ひとりの感じ方を受けとめたアプローチができる環境を目指して保育計画を策定しました。

2. 具体的な実施内容

① 障がい児保育

※令和4年度から園内に発達支援室（かめ組）を設ける

【療育】体幹を鍛えることを意識した運動遊びを効果的に取り入れて、バランスを養い正しい姿勢を維持することが重要であると考えます。また、日常生活での運動動作の安定を図ることが、集中力や運動能力の向上につながると推定されるため、運動教材を用いて活発的に動く時間を設けました。個々に合わせて無理なくチャレンジできる活動内容を設定し、成功した時の達成感が得られるようにしました。同時に保育者も子ども達と一緒に楽しむことで「やってみたい」という気持ちを引き出せるように心がけました。

マッサージボール

- ・ボールの上を踏ん張って歩いたり、ボールから落ちないようにバランスをとりながら歩いたりすることで平衡感覚が身につくように関わりました。
- ・足の裏で直接触れることで感覚刺激を受け、感触の違いに気付けるよう考慮しました。

アクティブプレイソフトアーチ

- ・子どもによって遊び方は違い、またがる、滑る、這う、くぐる、跳ぶ、立つ、押す等自分の身体を意識してわくわくしながら運動できるようすすめました。このような運動をすることで、空間認知能力や瞬発力も自然に高められるよう働きかけました。
- ・ソフトアーチの揺らし方、バランスのとり方等は手を添えて知らせ、成功体験を重ねることで自分に自信が持てるように関わりました。

【音楽療法】楽器自体への興味・関心によって探る・試す・確かめるといった探索的な姿や、演奏（即興的な音のやり取りも含む）に加わる手段として楽器を用いる姿、あるいは楽器でなく玩具として使う姿など、子どもにより扱い方が様々で、活動を重ねる中でそこに変化が見られることもあります。その時々の子どもの同じ目線に立ち、互いに活動を展開していこうという心持ちで関わるようにしました。

ツリーチャイム

- ・素手で触れる、掴む、バチを用いて鳴らす、頭や顔から突っ込むなど子ども達による様々な扱い方を受容的に捉え認めるよう心がけました。
- ・触覚だけでなく視覚的・聴覚的にも楽しめるよう、子どもの多様なアクションを引き出そうとしました。

電子ピアノ

- ・手のひらや拳、腕などで打楽器（主に太鼓）として鳴らす場合、楽器への興味を促し遊びの幅を広げることをねらいとしました。例えば、子どもの動きを真似る、子どもの気を引くような一手を示して誘うなど、楽器を通したやり取りを共に楽しむことを大切にして働きかけるようにしました。
- ・指先を使いある程度音を狙って鳴らす場合、一音ずつ順番に鳴らす、楽曲を演奏するように指をバラバラに動かして鳴らすなどといった場合にて、手と目の協応や巧緻性、リズム感などへのアプローチを意識して介入するようにしました。

② 乳児リトミック

眼から耳からそして肌から感じるものは、音楽やリズムという素材が加わることで楽しさが膨らみます。月齢に応じたアイテムや環境を整え、人と触れ合う温かさの中で実践することが乳児リトミックの大切な要素であることを踏まえ内容を計画しました。

リトミックスカーフ

- ・「にぎにぎ」「くちゅくちゅ」「ふわふわ」「すべすべ」いろいろな感じ方から発語を促すきっかけとなり、自己表現を促せるように働きかけました。

・大判スカーフを使って様々な見立て方で導入しました。時には風に時には水に自由な発想で子ども達の心と触れ合うことが出来るように、保育者も共に楽しみました。

ミニタンバリン

・小さな手に合わせた形のカラフルなタンバリンを、自由に触って遊ぶことから始まり次第にリズムに合わせてたたくことを楽しめるように、ピアノの音色を自然に加え子ども達の感覚に寄り添います。月齢によって曲調を変え少しずつレベルアップしました。

ドレミパイプ

・主に2歳児を対象とし、まず自由に触れることを親しみ、叩くと音が出ることに気付けるように促しました。

・保育者が演奏しパイプの長さや色で音が違うことも楽しめるように働きかけました。

3. その成果と評価

① 障がい児保育

マッサージボール



繰返し活動する中で、並べ方を変えたり色の組み合わせを考えたりするなど、想像力を膨らませる場面が見られました。このように自発的に工夫することで、脳が刺激され身体の発達にも繋がると思います。また、一人ひとりの発達の様子に合わせて活動を発展させルールある遊び（どんじゃんけん）やサーキット遊びなども積極的に取り組む姿が見られました。



アクティブプレイソフトアーチ

くぼみの部分に座ってブランコのように遊んだり、橋のように置いて登ったり、中をくぐったり、置き方によって様々な活動が楽しめていました。伸び伸びと身体を動かすことが子ども達のモチベーションを高め、療育の効果を更に引き出す事ができたと感じています。安定した姿勢を保ち立ち上がったり、重心を移動させたり、身体を大きく使って遊ぶことから基本的な粗大運動能力の発達促進も期待できます。



ツリーチャイム

音色・手触り・チャイムの一本一本揺れる様などが感覚器官を刺激するようで、好む子どもが多かったです。また、少し触れるだけで音の出る繊細な楽器であるため鳴らすハードルも比較的低いようにも見受けられました。更に、両手で掴み一気に開放するというアク

ションから、指をコントロールし、静と動のダイナミクス（メリハリ）を面白がる様子や、ネジの部分に関心を持ち仕組みを考える子等、想定していなかった姿も見られ興味深かったです。



電子ピアノ

数種類の音色を耳にする中で、違いに気づき音から連想する想像力の豊かさがうかがえる場面が見られました。また、内蔵されている楽曲に合わせて気持ちよさそうに鳴らす姿から感性や表現力が感じられる瞬間もありました。

療法士が子どもの繰り出す音や動きに似寄り添うように弾いて合わせることで、表現の幅が広がったり、やり取りが膨らんだりといった変化も生まれやすく、ピアノという楽器の持つマルチな魅力を再実感しました。



② 乳児リトミック

リトミックスカーフ

（0歳児）・手にして感触を確かめてから、保育者の顔を見て表情で思いを伝えます。



「気持ちいい」と感じることで安心感を与え情緒の安定につながり、同時に喃語が生まれ自己表現しようとしています。



・保育者の働きかけから友だちの存在に気づきます。そして、スカーフが媒介となり触れ合い、じゃれ合う楽しさを経験します。

・「追視」することは脳に刺激を送り、脳の神経回路を発達させる効果があると言われています。

（1歳児）・保育者（人的環境）が何よりの手本となり、まねっこ上手な子ども達を促します。



様々なものに見立てて遊ぶことで想像力や発想力を育みます。また、色や感触などの刺激を受けることで、手や表情、声を使ったコミュニケーションが膨らみました。



(2歳児)・いろんなニュアンスを全身で表現することで「重心移動」「ジャンプ」「スキップ」「揺れる」「転がる」など基礎的な運動能力が育まれます。



・保育者が思いっきり楽しむことで子ども達は自ずと笑顔になり、体を動かすことを躊躇しません。先生から離れお友だちと一緒に楽しむ姿からは自信も感じられます。

ミニタンバリン ドレミパイプ

・ピアノの音に合わせて手拍子をしたりタンバリンをたたいたりいろんなテンポやニュアンスを経験することで、次の音を期待して待つようになります。予測能力を伸ばし記憶力や集中力を鍛えます。リズムにのせて言葉を覚えたり、手首の動きを促したり様々な力が楽しみながら身についています。



4. 今後の課題と展望

今回、助成いただいた教材等を用いた活動を通して、テーマでもある「自己表現のきっかけを応援する」ことの大切さを再認識しました。そしてそこに関わる保育者の自己成長も付随する効果として見出され、更には園全体の活気向上に繋がったと感じています。

保育者との信頼関係を基盤とした子ども達の成長は、一方通行ではない関わりの中にあります。どんな小さな「できた」も見逃さず、次の「できた」が生まれるきっかけとなるように、子ども一人ひとりの意思を尊重しながら、様々な方向からアプローチできる保育・教育環境であることをこれからも目指し続けます。

自己表現がコミュニケーションのスタートと捉えると、必要なのは子どもだけではなく大人（保育者）も同じです。ご縁をいただいた第一生命財団の素晴らしい企画に感謝し、これからも笑顔あふれる場所でありたいと思います。

以上